

YEG通信  
VOL.150

高山商工会議所青年部会通信

# NEW AGE

8月号

高山商工会議所青年部会  
高山市天満町5-1  
TEL.0577-32-0380  
http://www.t-yeg.com/

会員募集中

YEG会員を  
FMで紹介中  
お聞き逃しなく!



『がんばれ兄様  
英雄伝説』

・毎週木曜日  
AM9:30~AM9:45  
・毎週土曜日(再放送)  
PM4:45~PM5:00

## 自己研鑽委員会・第1回勉強会

# CS

「顧客満足」  
経営の極意

5月26日、第1回自己研鑽委員会の勉強会を開催しました。今回講師の高橋慶太先生の大変力強い講演に、48名の参加者の背筋がピンと伸びたようです。

今回は、年度基本方針である「人づくり・店づくり・客づくり」より、「店づくり」をテーマにご講演を頂きました。内容は、「CS(顧客満足)経営の極意」と題し、社員の幸福感・モチベーションを上げることが、お客様に満足していただけるお店(会社)に繋がり、そのために経営者はホスピタリティ3つのポイント

- ①まごころとふれあい
  - ②新たな価値の供創
  - ③お客様の喜びが私の喜び
- を意識して経営することの重要性を学びました。

なかなか実行できていない、または日々の中で忘れてしまっていることを、改めて気付かされた勉強会でした。「学後の実践」として、参加した会員が、一つでも何かに気づき、実践していくことが委員会の企画の成功と考えております。

自己研鑽委員会  
委員長 砂田貴宣



●第2回勉強会お知らせ  
9月7日(火)19時開講  
地場産センター5階  
《講演》お客様の感動を高める「ワクワク楽しい」組織づくり  
会員以外の参加もOK  
※但し、会員の社員様及び市内で事業を営む45歳以下の方限定

## 5月29日 スポーツ交流会 ソフトボール大会

エネオスみの谷・ガンバレ北村会長・メタバ川崎とチーム監督の名よりチーム名を決定し、3チームでの総当たり戦で行われました。優勝はエネオスみの谷チーム(全勝での優勝)。メタバ川崎チームは1勝1敗で2位、最下位はガンバレ北村会長チームで全敗でした。

1回戦目のエネオスみの谷VSガンバレ北村会長チーム戦では、延長戦までもつれ込むゲーム展開で、全てのチームが1勝1敗になるような均衡した展開。ハッスルプレーも飛び出し、手に汗握りました。

懇親会は同会場にてBBO形式で行われ、表彰式では協賛品から参加者全員にお土産を持ち帰っていただきました。また、食料品の協賛も頂き、BBO会場が美味しく頂きました。この交流会を通じ、普段の商売上での顔と二味違った表情も見られて、深いところでの交流が取れたのではと、主催委員会冥利に尽きる会になりました。

会員交流委員会 下畑拓哉



『OBとの座談会及び交流懇親会』のお知らせ  
日時・8月27日(金) 開始 18時30分  
場所 高山グリーンホテル

## 動物たちの「命」を守りたい

保健所によれば、年間で30万頭の犬猫が殺処分されており、特に猫が圧倒的に多いという。今年4月に動物愛護団体「ミアキス」が設立された。「里親探しもしていますが、一番大切なのはこれ以上、かわいそうな猫を増やさないことです」そう話すのは、ミアキス代表の浦人嗣さん。団体の設立を考え始めたのは3年前。愛猫が突然姿を消してしまい、ひどく心配していた頃。飼い主のいない猫を見かけるたびに、愛猫を思い心が痛んだ。猫も人間と同じように生きていく権利がある。人間の勝手では処分されてしまうことに疑問を感じた。「現在会員は28名です。これまでもさん、個人的に猫の避妊手術や里親探しをしてきましたが、どうしても金銭的に厳しいです。団体になることでネットワークができ、募金活動やチャリティを通して、広く一般の方に呼びかけていきたいと思っています」今後は、保健所とも協力して里親探しなどのシステムを作っていく、学校などでも命の尊さを伝えていきたいと語ってくれた。



(有)大八機械サービス 浦人嗣さん

## 今年も「金魚日本一」を目指す!!

### YEG会員もうちの顔



昨年、弥富市にて行われた、金魚日本一大会において、品種別、親魚と当歳魚の2部門にて日本一に輝いたヒタ硝子建材の小田さん。受賞したのは、その年に産まれた当歳魚と3歳の親魚、どちらも江戸錦という品種。背ビレのないランチュウ型で、柄は赤、黒、浅葱色の三色、モザイク透明鱗と呼ばれる色彩が特徴だ。評価の基準は、総体的に均整がとれ、軽やかな動きの優雅さを持ち、配色よく健康であること。トータル的な美しさが求められる。金魚は、ちよとした環境の変化で、うまく泳がなくなったり、体色が薄くなるなど、繊細な生き物。品評会までには、餌の調整から環境の変化に慣れさせる練習など、気を使ったという。小田さんが本格的に金魚飼育を始めたのは7、8年前。たまたま知り合いから頂いた高級金魚に魅了され、設備などを整えていった。朝早く起きて水槽の水を変えたり、金魚の状態を見て餌を調整するなど、日々の管理が重要で大変だが、「自分で交配し、育てた金魚が成長していくのが楽しみ」と、小田さん。今年も、10月に開催される金魚日本一大会に昨年の受賞魚も含め、数品種を出品する予定だ。



ヒタ硝子建材 小田義隆さん